

第3章

交通に対する住民が抱える課題

第1節 高齢者公共交通アンケート調査

1 調査の概要

高齢者の行動やバス・乗合タクシーに対するニーズ等の把握を目的として、平成20年3月に、老人クラブの協力のもと高齢者公共交通アンケート調査を実施しました。

< 調査の概要 >

目的	高齢者の行動やバス・乗合タクシーに対するニーズ等の把握
時期	平成20年3月
実施主体	加西市、老人クラブ
対象	加西市内の老人クラブに所属している人。
方法	アンケート調査票を老人クラブが配布・回収
主な質問内容	・よく行く施設 ・利用交通手段 ・外出回数 ・外出時間帯 ・運転免許の有無 ・公共交通を利用するための最低限のサービス水準 など
回答者数	4,902人（回答率72%）

2 公共交通利用の可能性がある高齢者数

(1) 公共交通利用の可能性がある高齢者数（人口ベース）

公共交通利用の可能性がある高齢者を自動車で移動しにくい高齢者として、下記の条件のいずれかに該当する人と設定し推計しました。

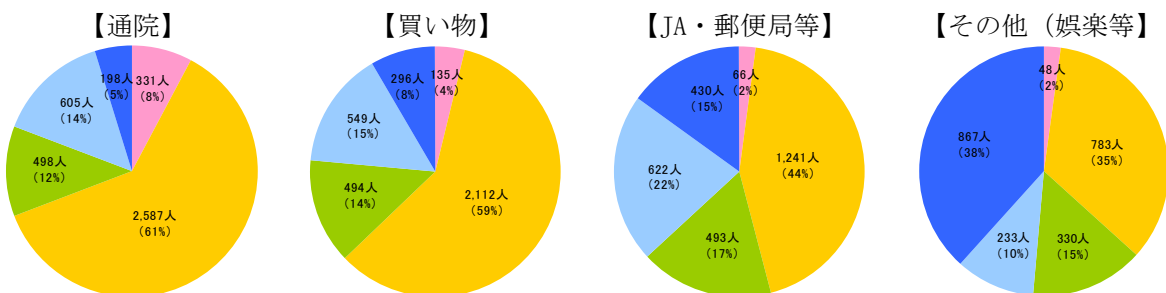
- ・鉄道・バスを利用して外出する人
- ・車で送迎してもらっている人
- ・鉄道・バスが不便だから、車を自分で運転している人
- ・鉄道・バスが不便だから、徒歩や二輪で外出している人
- ・鉄道・バスが不便だから、外出しない人

推計の結果、公共交通利用の可能性がある高齢者は約5,400人です。また、通院・買い物目的において、鉄道・バスが不便だから外出しないという人は比較的少ないことから、高齢者にとって通院・買い物は生活必需であることがわかります。その通院・買い物目的では、公共交通利用の可能性がある高齢者数のうち、半数以上の人が送迎されています。

	行く・鉄道、バス	行く・車(送迎)	行く・車(運転)・鉄道バス不便	行く・徒歩二輪・鉄道バス不便	行かない・鉄道バス不便
通院	331	2,587	498	605	198
買い物	135	2,112	494	549	296
JA・郵便局・役所等	66	1,241	493	622	430
その他(娯楽等)	48	783	330	233	867

重複を考慮して推計：**5,425人**

※表とグラフの色を対応させています



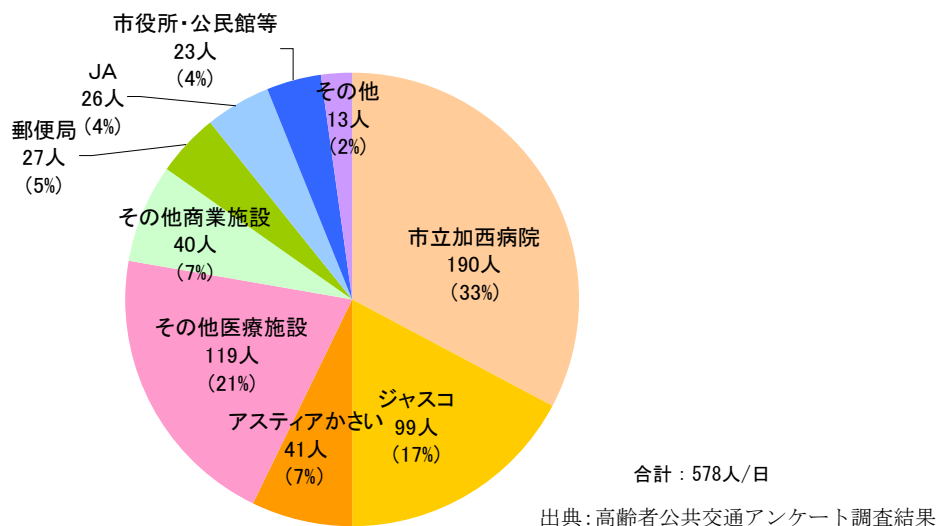
出典：高齢者公共交通アンケート調査結果

(2) 公共交通利用の可能性がある高齢者数（1日あたり）

公共交通利用の可能性がある高齢者数に、外出率と外出頻度を考慮し、1日あたりの公共交通利用の可能性がある高齢者数を推計しました。なお、この推計は具体的な目的地が記入された回答者で推計しました。

1日あたりの公共交通利用の可能性がある高齢者は約600人/日であり、それらの人の目的地としては「加西病院」「ジャスコ」「アステアかさい」で約6割を占めています。その他の施設は医療施設、商業施設、JA、郵便局、市役所などです。

＜ 目的地別にみた公共交通利用の可能性がある1日あたり的高齢者数 ＞



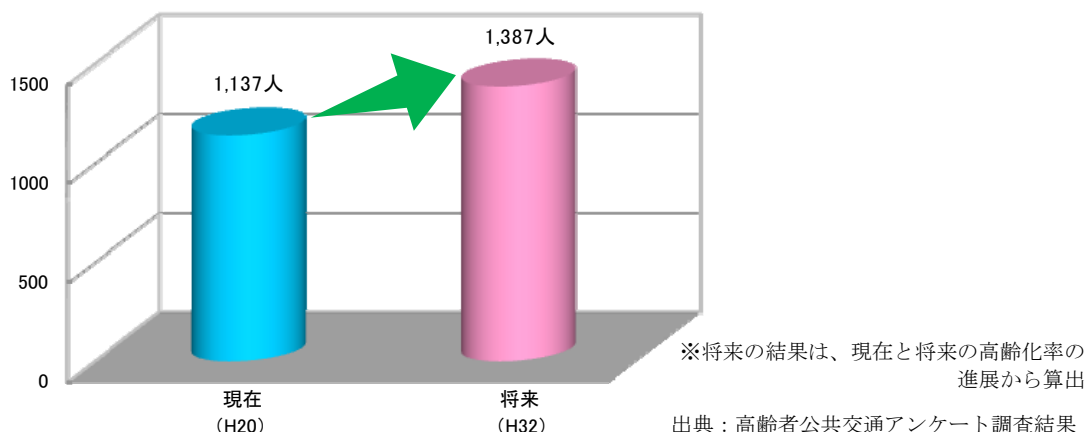
3 公共交通が不便なことで困っている高齢者数

公共交通利用の可能性がある高齢者（約5,400人）のうち、公共交通が不便なことで困っている高齢者を以下のように設定し推計しました。

- ・「鉄道・バスが不便だから」通院や買い物に送迎してもらっている人
- ・「鉄道・バスが不便だから」通院や買い物に行かない人

推計の結果、公共交通が不便なことで困っている高齢者は、現在においても約1,100人います。この状態のまま高齢化が進展すると、約10年後の平成32年には、公共交通が不便なことで困る高齢者は約1,400人に増加してしまいます。

＜ 公共交通が不便なことで困っている高齢者数とその推移 ＞



第2節 グループインタビュー

1 開催の概要

平成20年3月に実施した高齢者公共交通アンケートでは把握できない「普段の移動で困っていること」や「公共交通に対するニーズ」等の把握を目的として、平成20年7月に市内5地区で、老人クラブの協力のもと、グループインタビューを実施しました。

< 開催の概要 >

目的	平成20年3月に実施した高齢者公共交通アンケートでは把握できない「普段の移動で困っていること」や「公共交通に対するニーズ」等を把握するため
時期	平成20年7月
実施主体	加西市公共交通活性化協議会、加西市老人クラブ連合会
実施対象	加西市老人クラブ連合会会員
出席者数	北条・富田：16名 賀茂・下里：10名 九会・富合：9名 宇仁・日吉：11名 泉・西在田：21名 合計：67名

2 グループインタビューでの主な意見

● 普段の移動で困っていること

- ・バスの便数が少ないから利用したくても利用できない
- ・送迎してもらうことが多い
- ・送迎してもらうのではなく、買い物に1人で行きたいが利用できる公共交通がない
- ・送迎してもらうのは気を遣う
- ・送迎してくれる人がいない高齢者は、買い物や病院に行くのに困っている（北条鉄道まで約2kmの道のりを往復歩いたり、送迎してもらえないうまで待ったり、仕方なくクルマを運転するなど）
- ・クルマがないと移動（生活）できない

● 公共交通の利用料金について

- ・利用者の小額の料金負担はやむを得ない。便利であれば、少々高くてもよい
- ・料金を安くしてほしい
- ・高齢者フリーパスの検討が必要ではないか

● バス等の運行方法について

- ・市立加西病院まで乗り換えなしで行きたい
- ・乗り換えは不便である
- ・曜日限定でも公民館まで来る公共交通がほしい
- ・公民館までだと、まだ遠い人もいる
- ・自由乗降区間があれば利用しやすい
- ・曜日限定にしたり、小さい車両にして1日あたりの運行本数を増やしてほしい
- ・せめて1日に3便ほしい、2便であると行き帰りの時間が完全に限定されてしまう
- ・若井万願寺線の迂回が大きい

● その他

- ・公共交通利用促進のPRが足りないのではないか
- ・公共交通マップ等を配布してはどうか
- ・市民も公共交通にもっと関心を持つべきである

※複数の地区で、複数の人から出た主な意見を整理しています